

教職員が納得のいく人事異動を!

学校現場においては先生方を大切にしたい…と県教委の回答

香川教育

発行所
高松市田村町1033-3
TEL (087) 867-4797
FAX (087) 867-6446
香川県教職員組合
定価 1部50円 1月100円
【組合員の購読料は組合費に含む】

発行所
高松市田村町1033-3
TEL (087) 867-4797
FAX (087) 867-6446
香川県教職員組合
定価 1部50円 1月100円
【組合員の購読料は組合費に含む】

香教組ホームページ

http://kakyoso.com/

育休・病休明けの職場復帰

香教組 育休・病休明け、特に精神疾患で病休後の復帰については、本人の意思を十分に確かめ、希望を尊重すること。

県教委 本人の意思を尊重するようには努力している。総合的に見て、教員としての成長を考えて一番良いところはどこなのかを考え、適正配置するようにしている。

香教組 「教職員調査票」は、厳封前にチェックしたり厳封後に書き直されたこと、「校長に直接提出すること」を徹底すること。

香教組 「転任希望」者が多いと学校経営の評価が低くなる」とも考えたのか、異動希望を書き換えさせるケースがあった。本当の希望が書けないのでは調査票の意味がない。

香教組 「間違いがあったらはいけないから」という理由を言う方もいるが、事務的な事前チェックは必要ない。

香教組 11月中旬から12月にかけて、校長が面談して人事の希望を聞く学校がある。期末テストの処理や通知表の作成を忙しくしている時期

2016年2月3日(水) 香教組は、県教委と2015年度末人事異動についての交渉を行いました。香教組からは、「教職員の個々の事情を考慮し、納得できる人事」を要求しました。現場の具体的な様子を話し、県教委と現場の認識のずれがあることも指摘しました。



香教組の要求に対して回答する県教委

県教委 「別紙・無記名」とし、自由記述にすること。教頭の評価も行えるようにすること。

香教組 書かれていることについて県教委が確認がとれないので、記名にしている。

香教組 上司に対して意見がいうことには勇気がいる。昨今は「いじめアンケート」も「無記名」。無記名にするべき。ある学校の職員会で、「校長評価」に真ん中の評価をつける人はいないですよね」と、良い評価を誘導するような教頭の発言もあった。また、セクハラ・パワハラについては記名だと書きにくい。

香教組 教頭の評価は、校長に登用するときにもデータとしてある方がいいのではないかと。

県教委 教頭の評価は、校長がするものだ。教頭に課題がある場合は、校長の学校運営としての評価が問われる。教頭の課題については直接校長に伝えてほしい。もしくは「校長評価」の自由記述欄に学校運営の課題として記述する方法もある。

香教組 健康保険が継続できなかった方は、7名いた。昨年5月に社会保険事務所の「継続できない」との回答を受け、なんとか解決できる方法はないかと考えている。時間はかかっても、続けて働きかけていきたいと思っている。

県教委 健康保険が継続できなかった方は、7名いた。昨年5月に社会保険事務所の「継続できない」との回答を受け、なんとか解決できる方法はないかと考えている。時間はかかっても、続けて働きかけていきたいと思っている。

香教組 校長が学校運営をきちんとすることは当たり前のこと。校長は適格者を登用している。職務を果たせるよう研修をしてきた。現場の管理職や学校運営について、教職員の様々な不満があることがわかった。管理職に気付いてもらうことが大切だと思いたい。伝わるよう今後努力していきたい。「教職員調査票」については、「教頭評価」、学校運営の課題として記述する方法もある。

香教組 健康保険が継続できなかった方は、7名いた。昨年5月に社会保険事務所の「継続できない」との回答を受け、なんとか解決できる方法はないかと考えている。時間はかかっても、続けて働きかけていきたいと思っている。

香教組 健康保険が継続できなかった方は、7名いた。昨年5月に社会保険事務所の「継続できない」との回答を受け、なんとか解決できる方法はないかと考えている。時間はかかっても、続けて働きかけていきたいと思っている。

香教組 健康保険が継続できなかった方は、7名いた。昨年5月に社会保険事務所の「継続できない」との回答を受け、なんとか解決できる方法はないかと考えている。時間はかかっても、続けて働きかけていきたいと思っている。

香教組 健康保険が継続できなかった方は、7名いた。昨年5月に社会保険事務所の「継続できない」との回答を受け、なんとか解決できる方法はないかと考えている。時間はかかっても、続けて働きかけていきたいと思っている。

香教組 健康保険が継続できなかった方は、7名いた。昨年5月に社会保険事務所の「継続できない」との回答を受け、なんとか解決できる方法はないかと考えている。時間はかかっても、続けて働きかけていきたいと思っている。

「現場では喜びの声が上がっている。しかし、西部教育事務所と東部教育事務所間を異動する人が、まだ解消されていない。該当する人はどれくらいいるのか。今、どのような対応になっているのか。」

健康保険が継続できなかった方は、7名いた。

健康保険が継続できなかった方は、7名いた。昨年5月に社会保険事務所の「継続できない」との回答を受け、なんとか解決できる方法はないかと考えている。時間はかかっても、続けて働きかけていきたいと思っている。

健康保険が継続できなかった方は、7名いた。昨年5月に社会保険事務所の「継続できない」との回答を受け、なんとか解決できる方法はないかと考えている。時間はかかっても、続けて働きかけていきたいと思っている。

健康保険が継続できなかった方は、7名いた。昨年5月に社会保険事務所の「継続できない」との回答を受け、なんとか解決できる方法はないかと考えている。時間はかかっても、続けて働きかけていきたいと思っている。

健康保険が継続できなかった方は、7名いた。昨年5月に社会保険事務所の「継続できない」との回答を受け、なんとか解決できる方法はないかと考えている。時間はかかっても、続けて働きかけていきたいと思っている。

健康保険が継続できなかった方は、7名いた。昨年5月に社会保険事務所の「継続できない」との回答を受け、なんとか解決できる方法はないかと考えている。時間はかかっても、続けて働きかけていきたいと思っている。

健康保険が継続できなかった方は、7名いた。昨年5月に社会保険事務所の「継続できない」との回答を受け、なんとか解決できる方法はないかと考えている。時間はかかっても、続けて働きかけていきたいと思っている。

健康保険が継続できなかった方は、7名いた。昨年5月に社会保険事務所の「継続できない」との回答を受け、なんとか解決できる方法はないかと考えている。時間はかかっても、続けて働きかけていきたいと思っている。

健康保険が継続できなかった方は、7名いた。昨年5月に社会保険事務所の「継続できない」との回答を受け、なんとか解決できる方法はないかと考えている。時間はかかっても、続けて働きかけていきたいと思っている。

健康保険が継続できなかった方は、7名いた。昨年5月に社会保険事務所の「継続できない」との回答を受け、なんとか解決できる方法はないかと考えている。時間はかかっても、続けて働きかけていきたいと思っている。

健康保険が継続できなかった方は、7名いた。昨年5月に社会保険事務所の「継続できない」との回答を受け、なんとか解決できる方法はないかと考えている。時間はかかっても、続けて働きかけていきたいと思っている。

健康保険が継続できなかった方は、7名いた。昨年5月に社会保険事務所の「継続できない」との回答を受け、なんとか解決できる方法はないかと考えている。時間はかかっても、続けて働きかけていきたいと思っている。

健康保険が継続できなかった方は、7名いた。昨年5月に社会保険事務所の「継続できない」との回答を受け、なんとか解決できる方法はないかと考えている。時間はかかっても、続けて働きかけていきたいと思っている。

先日、パワハラ・セクハラの話をしてきた時のこと。「それセクハラ発言ですよ」と指摘すると「そうなん？そんなつもりはないんやけどな」と返答。じつくり話してみると、それぞれの世代感覚のずれがあった▼戦後70年、世の中の価値観は大きく変わってきた。「不易と流行」と言われ、変わらぬ、変えない良さもあるとは思いますが、時代に応じて変化していく方がいいこともたくさんある▼教職員の長時間過密労働が指摘され始めてもう何年も経つ。そんな中で、16時半勤務終了にもかかわらず「16時15分から職員会議を始め、17時50分終了」という学校が依然としてある。ここは、全員参加の会議が、

感覚の違い?無知?

勤務時間終了後の開始時刻で告知されることもある▼「いまだきき」と耳を疑った▼香教組の「長時間過密労働解消の実感が得られない」との問いに対し、県教委は「業務改善プランによって、各校とも会議等を精選し、かなり改善されているはずだ」と声高々に回答した▼高度経済成長期に大人の働く姿を見て育った50代は、必要ならば、勤務時間を超えても仕方がないという人も多い▼しかし、20世紀に入っ

てすぐに、労働者の心身の健康を守るために8時間労働制と有給休暇が導入されていることを考えると、「感覚の違い」では済まされないのではないか▼どちらかというとも無知という表現が合うのかも知れない。

てすぐに、労働者の心身の健康を守るために8時間労働制と有給休暇が導入されていることを考えると、「感覚の違い」では済まされないのではないか▼どちらかというとも無知という表現が合うのかも知れない。

てすぐに、労働者の心身の健康を守るために8時間労働制と有給休暇が導入されていることを考えると、「感覚の違い」では済まされないのではないか▼どちらかというとも無知という表現が合うのかも知れない。

てすぐに、労働者の心身の健康を守るために8時間労働制と有給休暇が導入されていることを考えると、「感覚の違い」では済まされないのではないか▼どちらかというとも無知という表現が合うのかも知れない。

てすぐに、労働者の心身の健康を守るために8時間労働制と有給休暇が導入されていることを考えると、「感覚の違い」では済まされないのではないか▼どちらかというとも無知という表現が合うのかも知れない。

てすぐに、労働者の心身の健康を守るために8時間労働制と有給休暇が導入されていることを考えると、「感覚の違い」では済まされないのではないか▼どちらかというとも無知という表現が合うのかも知れない。

てすぐに、労働者の心身の健康を守るために8時間労働制と有給休暇が導入されていることを考えると、「感覚の違い」では済まされないのではないか▼どちらかというとも無知という表現が合うのかも知れない。

てすぐに、労働者の心身の健康を守るために8時間労働制と有給休暇が導入されていることを考えると、「感覚の違い」では済まされないのではないか▼どちらかというとも無知という表現が合うのかも知れない。

てすぐに、労働者の心身の健康を守るために8時間労働制と有給休暇が導入されていることを考えると、「感覚の違い」では済まされないのではないか▼どちらかというとも無知という表現が合うのかも知れない。

てすぐに、労働者の心身の健康を守るために8時間労働制と有給休暇が導入されていることを考えると、「感覚の違い」では済まされないのではないか▼どちらかというとも無知という表現が合うのかも知れない。

てすぐに、労働者の心身の健康を守るために8時間労働制と有給休暇が導入されていることを考えると、「感覚の違い」では済まされないのではないか▼どちらかというとも無知という表現が合うのかも知れない。

2016年度採用選考試験勉強会

サークル 参加費100円

高松会場 2/9、2/23、3/8、3/22 19:00~
隔週火曜日 香教組会館 2階会議室

三豊会場 2/15、2/29、3/14、3/28 19:00~
隔週月曜日 三豊教育会館 会議室

丸亀会場2/17、3/2、3/16、3/30 19:00~
隔週水曜日 丸亀市生涯学習センター5階

大川会場2/10、2/24、3/9、3/23 19:00~
隔週水曜日 津田教育会館

パワーアップ 参加費300円

第1回 4/24 (日) 10:00~ 高松テルサ3階
集団面接講座①

第2回 6/19 (日) 10:00~ 高松テルサ3階
集団面接講座②

第3回 8/12 (金) 18:00~ 高松テルサ3階
2次対策 小論文講座

どなたでも参加できます。

平和な未来を子どもたちへ残したい… 「戦争法の廃止を求める統一署名」に協力を!

2015年9月19日「平和安全法制関連2法」が可決しました。この法案は、国際紛争解決のために武力行使を可能とするものです。日本国憲法は、第9条で国際紛争を武力で解決することを禁止しています。

子どもたちには、国際紛争の解決のために、武器をもち自分が命を落とす危険と闘いながら、人を殺すようなことはさせたくありません。

朝の連続テレビ小説の中で、主人公あさが力づくで炭坑で働くみんなを動かそうとしたとき、夫の新次郎は

「力づくで物事を解決することがすべてではない。

他にも大切なことはあるはず」

とあさに話します。

国際的な文化の違いによる行き違いを、教育の力で、力づくではない方法をみつけ解決することが平和への道ではないで

しょうか。ご家族にも声をかけ、ご協力をよ

ろしくお願いします。

目標 全国2000万筆

全国青年教職員学習交流集会in奈良

初参加でしたが、色々な人とお話をする機会になり、とても勉強になりました。

分科会では、食育についての発表を聞きました。東京の学校栄養職員の先生の発表で、多くの取り組みをされていて驚きました。子ども達に様々な体験をさせ、気付かせ、それを学びに繋げていく食育のスタイルは、子ども達の心を豊かにし、知識も付けさせる事ができる理想の形だと思いました。何よりも、発表してくれた松本先生がやる気に満ちて生き生きとされていたのが印象的でした。

私は今まで授業をただこなしていただけでは無いのかと反省させられました。この学びをきっかけに、これから、子どもたちに伝えたい事をもっと勉強し、食育に取り組みたいと思います。

中学校 20代



2016. 1. 30-31 全国から参加した青年教職員のみなさん

2016年1月30日(土) 31日(日) 全国青年教職員学習交流集会が奈良県橿原市で開催されました。香教組も青年部から5名が参加し全国の仲間とともに交流を深めました。

「子どもの貧困対策」に参加しました。就学援助を通して学校事務の方の子どもや学校に対する熱い思いを聞くことができました。家庭のためにアルバイトを始めた生徒が様々な大人と出会い、お金を得ることで進学意欲が上がり、退学する高校生がいることに驚きました。経済的なことで人間関係に上下ができたり、部活などがしたくてもできなかつたりする現実。きちんと制度を知り活用できるようにになりたいです。

小学校 30代

北村年子さんの講演より

自尊感情＝自己尊重感であることを教えていただきました。そして、自尊感情を育てるためにすべきことを分かりやすく話してくださいました。その中でも、「長所をほめ、短所をゆるす」という言葉が印象に残りました。また、「YOUメッセージは攻撃になるが、Iメッセージにすることで、子どもの心も育つ」ということを学びました。さらに、私自身も普段からよく言っている「明日だれも死なないなら、これは今しなくてもいい!」と仰っていただき、心が軽くなりました。「ま、いっか!」の気持ちでこれからもがんばりたいと思います。

小学校 30代

2日目 「教室でできるミニゲーム」を真剣にする参加者

1日目の分科会「病弱(特別支援)教育」に参加しました。グループ討議では、「安心できる学級づくり」について話し合いました。いろいろな校種の先生から実態を教えてもらいました。悩みは尽きぬもので、はっきりとした解決法は見つかりませんが、聞いてもらうだけでも、ちょっとスッキリしました。交流会2次会で、他県との交流もしっかりしてきました。

小学校 30代

今回は『授業づくり』の分科会に参加した。そこでは2人の方のレポート発表があり、感じたことは「みんな同じなんだな」ということだった。私は昨年、職員の事・クラスの事・保護者の事で苦勞をした。どんなに頑張っても頑張っても自分の不甲斐なさを痛感するばかりだった。それを同じ年代の先生が同じように苦勞していると知ることができた。またそんな中でも1つ1つの授業を大切に、授業で子どもたちを活躍させることが子どもを引き付け、クラスを落ち着かせることに最適だということに改めて気がつくこともできた。また「まあいっか」と思って無理せず適度に頑張ることの大切さも知ることができた。

小学校20代